

<第102回調査>

2017年11月27日

【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

【調査実施期間】

2017年11月14日(火)13:00~2017年11月21日(火)13:00
※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。
今回の有効回答数は758件。
※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

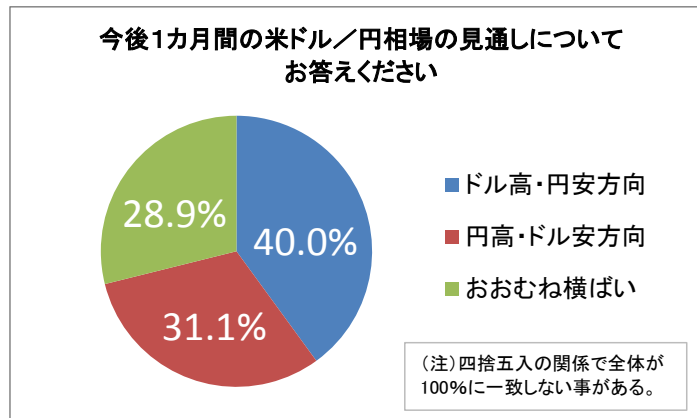
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第102回調査結果略報：米ドル/円、かろうじて強気見通しを維持】

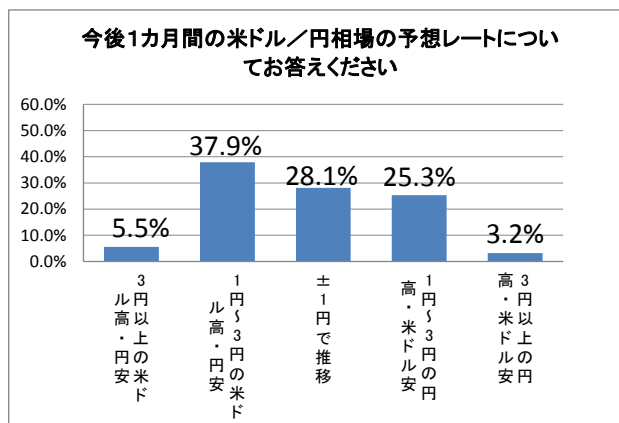
問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が40.0%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は31.1%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は△8.9%ポイントとなり、4カ月連続で強気見通しを示すプラス圏を維持したが、強気度合いを示すプラス幅は前回の18.8%ポイントから縮小した。調査期間中の米ドル/円相場は、113円台からじりじりと上値を削る形で一時111円台まで弱含んだ。こうした値動きを目の当りにした事で弱気見通しに転じた向きも少なくなかったようだ。ただ、111円台後半には、複数のサポートと見られるチャートポイントが点在しており、これらが強気派の「最後の砦」となっているのかもしれない。※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」が37.9%と最も多く、「±1円で推移(28.1%)」、「1円～3円の円高・米ドル安(25.3%)」、と続き以下「3円以上の米ドル高・円安(5.5%)」、「3円以上の円高・米ドル安(3.2%)」の順になった。ヒストグラムの形状は、米ドル高・円安方向にやや傾いており、問1の結果と整合的と言えよう。また、「1円～3円の米ドル高・円安」と答えた割合が前回の42.6%から低下した一方、「1円～3円の円高・米ドル安」の割合が増えた(前回23.0%)点についても、強気度合いが低下した問1の回答結果に沿った内容であろう。

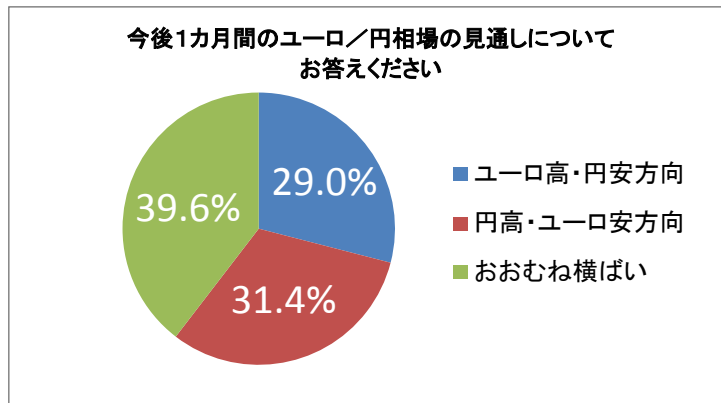


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

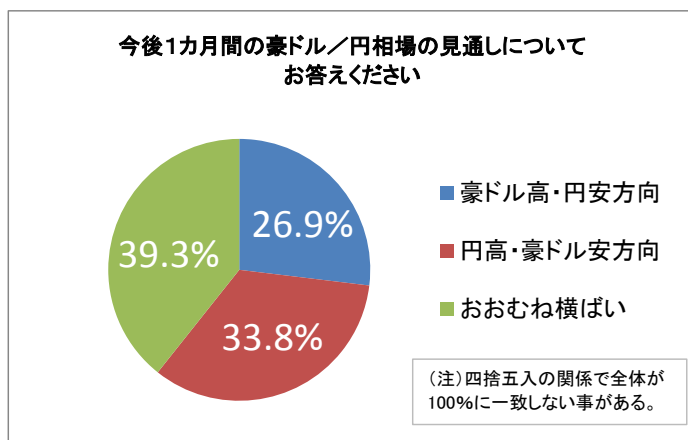
問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が29.0%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が31.4%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は▼2.4%ポイントと、小幅ながらも5カ月ぶりに弱気見通しを示すマイナスDIとなった。調査期間中のユーロ/円は、133円台に上昇したかと思えば131円台に下落するなど方向感なく上下した。14日には独7-9月期国内総生産(GDP)・速報値の好結果にユーロ買いで反応した一方、20日は独連立協議が決裂した事にユーロ売りで反応。個人投資家の間でもユーロ/円の相場観が定まらなかったと見られ、その様子が予想DIに反映されたようだ。
※過去のユーロ円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が26.9%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は33.8%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は▼6.9%ポイントとなり、4月調査以来7カ月ぶりのマイナスDIとなった。調査期間中の豪ドル/円相場は、86円台後半から84円台半ばへと弱含みで推移し、約5カ月ぶりの安値を付ける場面もあった。豪州でも他の先進国と同様に低インフレへの懸念が広がり、豪中銀(RBA)の早期利上げ観測が後退した事が、個人投資家の見通し軟化に繋がったと考えられる。
※過去の豪ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

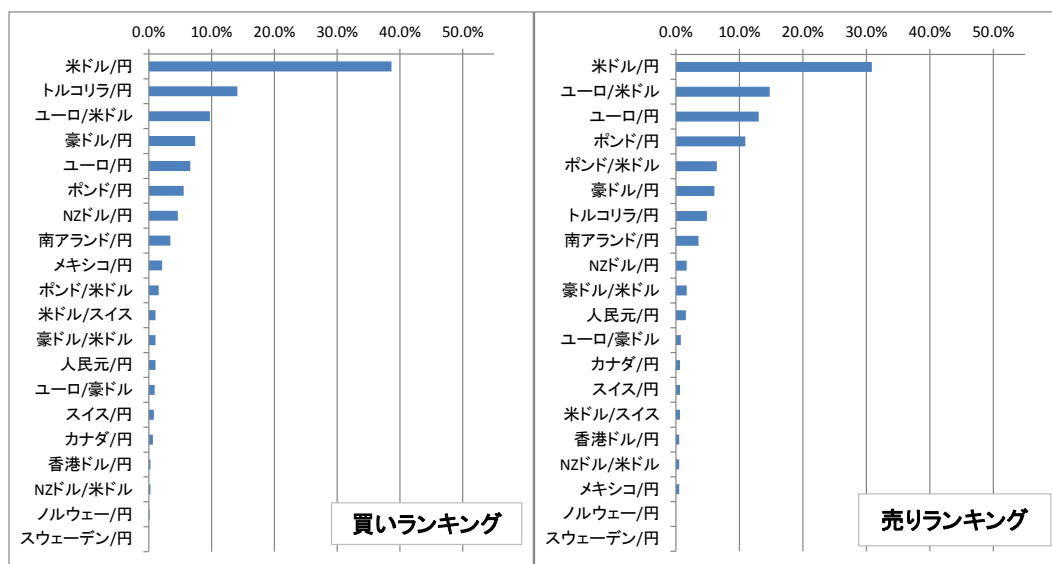
Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が38.7%の回答割合を集めて1位であった。以下、トルコリラ/円(14.1%)、ユーロ/米ドル(9.8%)、豪ドル/円(7.4%)、ユーロ/円(6.6%)の順に続いた。米ドル/円は2位以下に大差を付けて連続首位記録を62カ月に伸ばした。また、トルコリラ/円は2カ月連続で2位となった。トルコリラをめぐる情勢は、欧米とトルコの関係悪化や同国大統領による中銀への利下げ圧力など、売り材料には事欠かない。実際にトルコリラ相場は対円、対ドルともに史上最安値を更新中だ。しかしながら、そうしたリスクよりも、極めて高い金利(円売り・リラ買いで得られるスワップポイントは低レバレッジでも年利回り換算で10%を超える)をメリットと感じる個人投資家が少なくなっていく事だろう。

一方、「売り」で注目の通貨ペアは米ドル/円が30.9%の回答割合を集めて13カ月連続で首位をキープした。以下、ユーロ/米ドル(14.8%)、ユーロ/円(13.1%)、ポンド/円(10.9%)、ポンド/米ドル(6.5%)の順に続き、順位およびその回答割合についても前回とほぼ同じであった。

米ドル/円以外には、積極的に買いたいペアも売りたいペアも見当たらないというのが実情かもしれない。

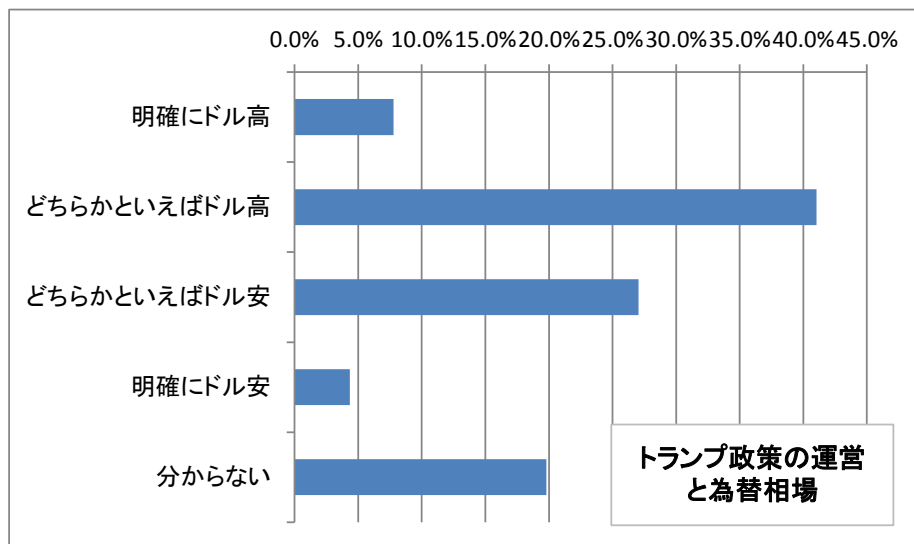


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問6: 米大統領選でトランプ大統領が勝利し1年が経ちました。今後のトランプ政策の運営と為替相場についてお答えください。

今回の特別質問として、「米大統領選でトランプ大統領が勝利し1年が経ちました。今後のトランプ政策の運営と為替相場についてお答えください。」と尋ねたところ、「どちらかと言えばドル高」が41.0%と最も多く、次いで「どちらかと言えばドル安(27.0%)」、「分からない(19.8%)」、「明確にドル高(7.8%)」、「明確にドル安(4.4%)」と続いた。トランプ大統領のスローガンは「米国第一」であり、政策面でもドル高を誘発しそうなものが多い。しかし、一方で日米や米中、あるいは米独の貿易不均衡に言及するなどドル安志向が強い様子でもある。個人投資家の見方が割れるのも無理からぬところだろう。なお、昨年11月の米大統領選挙直後に同じ質問をした際の回答割合は、「どちらかと言えばドル高(42.2%)」、「明確にドル高(21.7%)」、「どちらかと言えばドル安(17.8%)」、「明確にドル安(7.1%)」であった。「明確にドル高」と答えた割合が前回から大きく減少した点が興味深い。トランプ大統領が公約として掲げた政策の多くが1年経っても実現されていない事が影響したと考えられる。

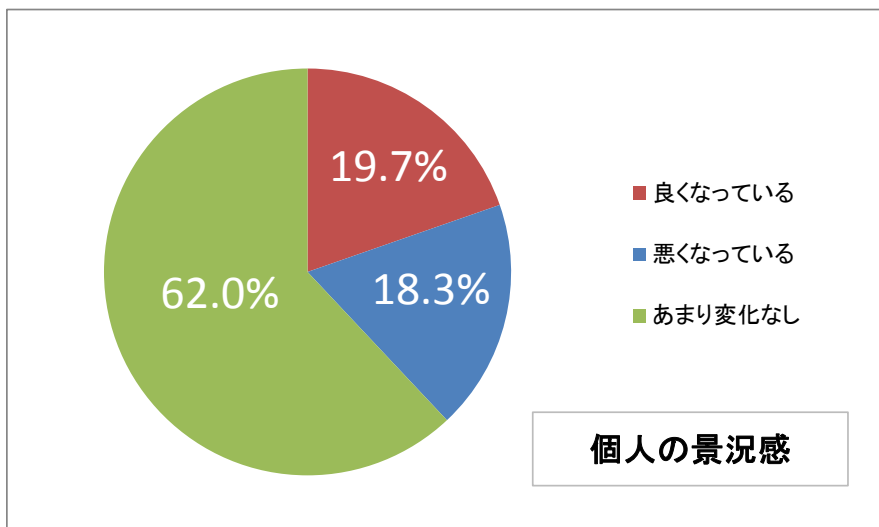


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問7:あなた個人の「景況感」はいかがですか？(ひとつだけ)

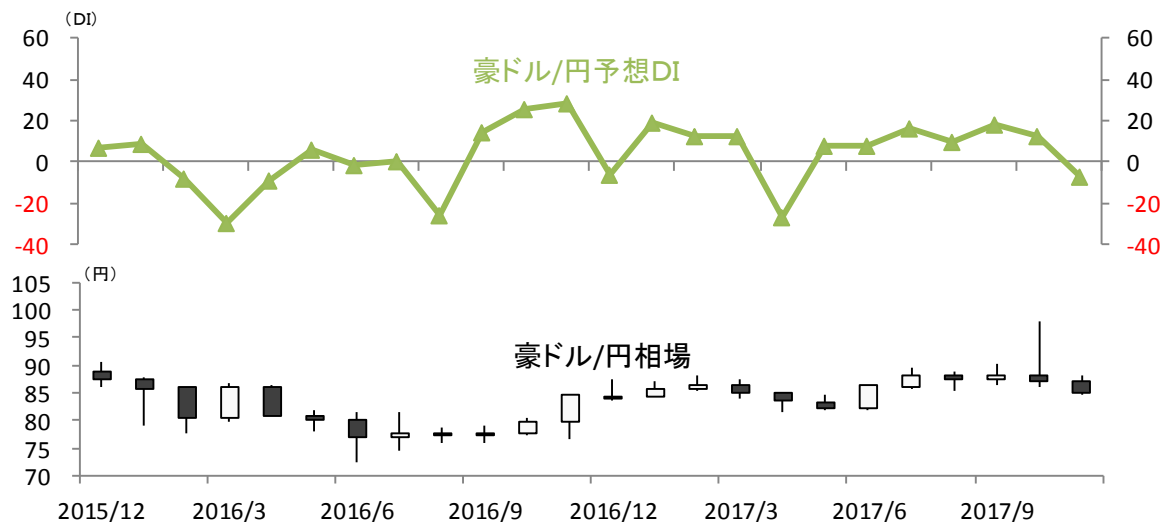
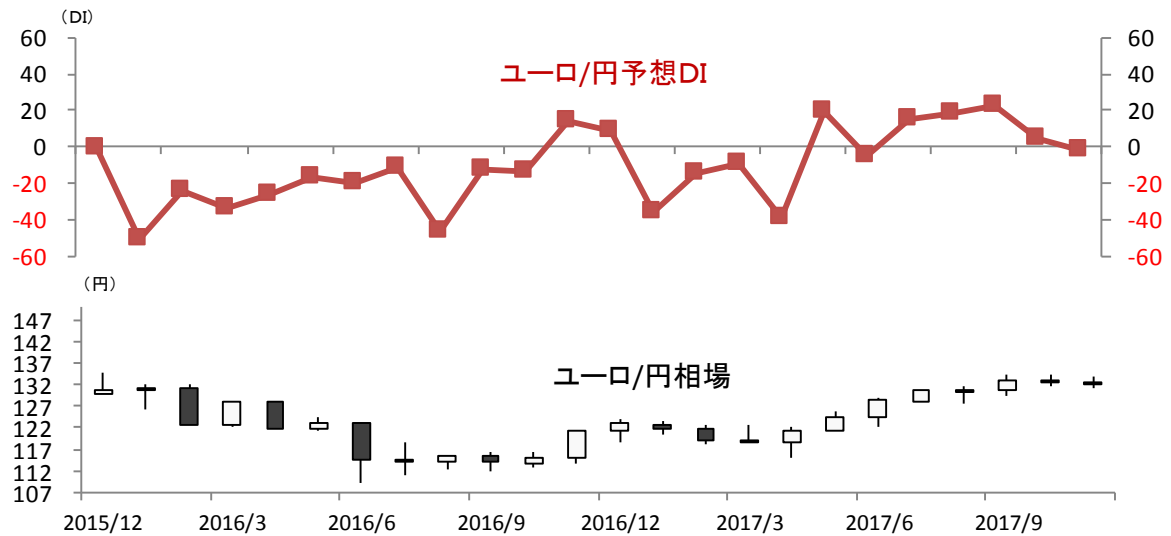
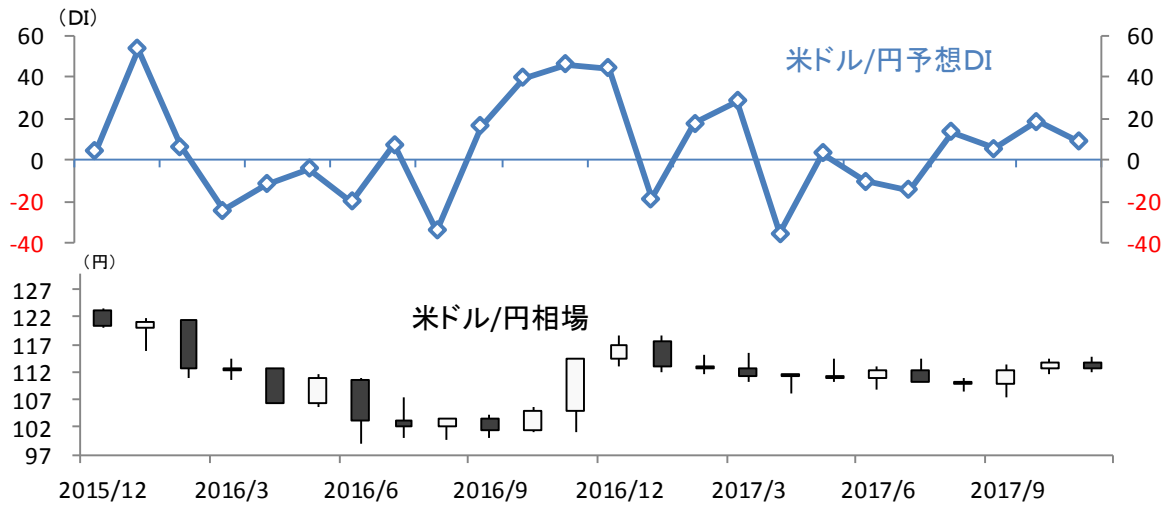
今回のもうひとつの特別質問として、「あなた個人の「景況感」はいかがですか？(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「良くなっている」は19.7%、「悪くなっている」が18.3%、「あまり変化なし」が62.0%という結果になった。この質問は3か月に一度のペースで定期的に尋ねているが、前回(8月調査)は「良くなっている(15.8%)」、「悪くなっている(20.4%)」、「あまり変化なし(63.8%)」という割合であった。「あまり変化なし」が圧倒的に多い点は今回も変わらないが、「良くなっている」が「悪くなっている」を小幅とはいえ上回ったのが印象的だ。なお、これは2015年7月調査以来の事であり、2年ぶりの景況感改善となる。その理由は明確ではないが、日経平均株価が25年10カ月ぶりの高値を付けるなど日本株が上昇(このところやや不安定化しているものの)した事が個人投資家の心理改善に役立ったのかもしれない



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様が生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第102回目となりました。調査開始から8年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年中央以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル／円			ユーロ／円			豪ドル／円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2015年	12月	43.8	37.1	6.7	19.7	44.1	-24.4	30.5	38.4	-7.9
2016年	1月	27.3	51.5	-24.2	19.2	52.6	-33.4	22.8	52.5	-29.7
	2月	34.7	46.3	-11.6	22.5	49.0	-26.5	32.3	41.3	-9.0
	3月	33.3	37.6	-4.3	24.8	42.1	-17.3	37.6	31.8	5.8
	4月	30.2	50.2	-20.0	24.2	43.9	-19.7	34.2	35.7	-1.5
	5月	40.8	33.4	7.4	22.6	38.2	-11.6	35.7	35.3	0.4
	6月	26.3	60.2	-33.9	20.0	67.0	-47.0	24.8	50.5	-25.7
	7月	48.3	32.1	16.2	32.1	44.7	-12.6	44.2	29.8	14.4
	8月	26.5	48.9	-22.4	17.2	48.1	-30.9	25.9	40.2	-14.3
	9月	34.5	36.8	-2.3	23.8	38.0	-14.2	28.4	35.4	-7.0
	10月	57.3	17.6	39.7	24.2	37.7	-13.5	43.3	23.0	20.3
	11月	65.9	19.9	46.0	38.7	24.8	13.9	47.0	21.2	25.8
	12月	64.4	20.2	44.2	36.6	28.3	8.3	50.0	21.6	28.4
2017年	1月	35.2	54.0	-18.8	18.3	54.1	-35.8	28.9	35.5	-6.6
	2月	46.2	28.7	17.5	23.8	38.1	-14.3	41.9	23.1	18.8
	3月	53.3	24.7	28.6	27.6	37.4	-9.8	36.1	23.1	13.0
	4月	21.6	51.7	-35.5	17.7	56.6	-38.9	19.6	46.4	-26.8
	5月	38.4	35.3	3.1	45.9	26.5	19.4	34.9	27.0	7.9
	6月	33.3	43.4	-10.1	31.5	37.1	-5.6	33.7	25.7	8.0
	7月	30.7	45.2	-14.5	42.4	27.6	14.8	42.8	26.9	15.9
	8月	45.5	32.0	13.5	43.8	25.3	18.5	37.3	27.9	9.4
	9月	40.8	35.0	5.8	44.4	22.0	22.4	40.9	22.7	18.2
	10月	48.2	29.4	18.8	35.5	31.5	4.0	37.9	25.6	12.3
	11月	40.0	31.1	8.9	29.0	31.4	-2.4	26.9	33.8	-6.9

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2017 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com